

令和元年度 第5回（8月）定例教育委員会会議録

1. 開催場所	名張市役所 庁議室
2. 開催日時	令和元年8月2日(金) 午前9時30分～午前11時30分
3. 出席委員	上島和久教育長、瀧永善樹委員、川原尚子委員、辻愛委員、丸下純一委員
4. 欠席委員	
5. 事務局	高嶋正広教育次長、大西哲教育総務室長、山村浩由学校教育室長、山崎博史教育センター長、宮前浩幸文化生涯学習室長、松本孝寿図書館長、山口敦司市民スポーツ室長、金森國康教育総務室教育総務係長(書記)
6. 議事	下記のとおり

(教育長) おはようございます。教育委員の皆様方におかれましては非常に暑い日が続いていますが、朝早くよりお集まり頂きましてありがとうございます。午後には、総合教育会議も予定されていますので、どうぞよろしく願いいたします。なお、冒頭に少し報告をさせて頂きたいと思えます。まず、1点目は昨日、臨時議会が開かれ、小中学校の空調設備につきまして、小学校12校の契約の議決を頂きました。若干補足説明となりますが、箕曲小学校は建物の裏に山がありまして、防災の関係で今回の補助要件には合致しないということで、ここにつきましては文科省の補助で整備をさせて頂きます。それから2点目は、すでに新聞報道もされておりますが、伊賀市の教育長が8月1日付で交代をされました。3点目は夏休みに入り、中体連の伊賀大会、県大会等々が行われております。大変良く頑張ってもらって、柔道で名張中学校男子が優勝という結果で全国大会に出場されます。他にも個人で柔道、水泳等が全国大会へ駒を進められ、東海大会におきましても、柔道や剣道の団体がベスト8となり、出場出来るということです。また、個人の種目で卓球、体操、水泳等々も出場されるとのことです。合わせて23名の選手が東海大会に出場します。東海大会は今年三重県が開催地となり県内各地で競技が行われる予定です。全国大会は今年近畿ブロックが開催地となっております。本日の4時半から東海大会出場者への激励会を予定していますのでご連絡をさせて頂きます。

座って失礼します。それでは本日の議事に入ります前に会議の公開についてお諮りをしたいと思います。本日の会議の事項中、議案 第18号 令和2年度使用小学校教科用図書及び令和2年度使用中学校教科用図書(特別の強化道徳を除く)の採択については義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律等の規定によりまして、名張市と伊賀市が同一の教科用図書を採択しなければならない事とされております。つきましては7月17日に開催されました第2回の伊賀採択地区協議会におきまして両市教育委員会における審議については、適正かつ公正な採択審議を妨げにならないよう非公開とする事を申し合

わせております事から、本会議に係る審議につきましては非公開とする事を提案したいと思っております。なお議事内容につきましては採択審議が完了致します8月31日まで時限的に非公開とする事とし、9月1日以降は公開する事としたいと考えております。また、その他の項の1)義務就学者の就学校の変更について及び2)児童生徒の問題行動について(6月分)につきましては個人情報保護の観点から非公開とする事を提案したいと思っております。委員の皆様方のご異議ありませんか。

(委員) 異議なし。

(教育長) はい、ありがとうございます。ご異議ないようですのでこれらの案件につきましては非公開として会議を進行したいと思っております。

## 1 報告

### 第25号 臨時代理した事件(名張市青少年補導センター運営協議会委員の委嘱・任命及び解嘱・解任)の承認について

(事務局説明)

(教育長) はい、報告が終わりました。この件につきまして委員の皆様方からご質問、ご意見ありましたら、お出し下さい。はい、どうぞ。

(委員) 警察署の伊賀少年サポートセンター長ですが、現在、東京へ3カ月間の研修に行っていると思います。その間の兼務は刑事課長さんがされていますが、それはそれで良いのですか。

(教育長) はい、事務局。

(事務局) はい、研修に行かれているということは聞いております。

(委員) 運営協議会委員を刑事課長にしておかなくて良いのですね。

(事務局) 委員としては、センター長に就任頂くのは大丈夫です。

(委員) はい、わかりました。

(教育長) よろしいですか。はい、どうぞ。

(委員) 協議会の会長は教育長という事でお聞きしていますが、副会長はもう決められているのかと、大体年間何回ぐらいの協議会を予定されていますか。

(教育長) 事務局。

(事務局) 年間の会議ですが、8月と翌年の2月頃の2回開催を予定しております。副会長については、確認させていただきます。

(委員) まだ決められていなかったら結構です。

(教育長) 他いかがですか。それではご意見もなさそうですので、承認でよろしいでしょうか。

(委員) はい。

(教育長) はい、ありがとうございました。それではこの件につきましては承認という事で

処理をしたいと思います。

## 2 議案

### 第17号 名張市いじめ防止基本方針の改定について

(事務局説明)

(教育長) はい、説明が終わりました。前回の定例教育委員会でもご議論頂いた案件ですが、修正をしたものの説明を受けました。何か委員の皆様方からご意見、ご質問ありましたらお出し下さい。昨今、全国的に見ても様々ないじめに関する事件、事案が発生している所で、子どもが自殺に至るとか重大な事案も度々発生しております。その都度、本当にこのいじめ防止の基本方針等々が有効なものとなっているかどうかという検証もされております。名張市として、実態として有効なものとなっているかどうか大切なことですが、いかがでしょうか。はい、事務局。

(事務局) 追加の説明をさせていただきます。この基本方針及び概要につきましては、承認頂いた後にホームページに掲載すると共に、生徒指導の担当を集めた推進会議の委員会で、先生方にも周知する形で、より徹底していきたいと思っております。

(委員) はい、すいません。

(教育長) はい、どうぞ。

(委員) はい、その件に関連して、非常にこのガイドラインは良く出来ていて詳しいのですが、保護者の方が見られた時には、中々難しい所があると思います。先程言われた簡略化したもの、一番大事なのは初期のいじめを察するというか、いじめの定義が大事だと思いますが、そういうものを詳しく、分かりやすく発信するような計画はあるでしょうか。

(教育長) はい、事務局。

(事務局) ご指摘頂きました様に、教師はいじめの定義の理解は出来ていますが、保護者や一般の方々には分かりにくい部分もありますので、内容やいじめの定義についてもホームページに掲載する際に、その記載も丁寧に行ってまいります。

(教育長) はい、どうぞ。

(委員) ホームページは確かに保護者の方とかは見られますが、チラシなどを教育委員会で作られて、本当に一番大事なのは初期の対応だと思いますので、そういう事があった時は担任の先生、委員会もありますので、相談して下さいといったような周知を促進するチラシ等があれば良いかと思いますがいかがでしょうか。

(教育長) はい、事務局。

(事務局) 意見をこれから協議し、また反映させて頂きたいと思っております。

(教育長) はい、どうぞ。

(委員) 一番大事なのはやっぱり初期に察して、学校、保護者、地域が一体となって子ども達と話が出来る環境づくりだと思います。事態が深刻になってから対応するのは大変だと

思います。初期にそういう事を皆に周知して頂いたらスムーズに行くと思いますので、初期段階での対応に重点を置く事をよろしくお願いします。

(教育長) はい、事務局。

(事務局) はい、分かりました。それも含めてしっかり取り組んで行きたいと思います。

(教育長) 私からひとつ提案です。チラシの作成も良いと思いますが、市の広報誌へ改定した内容を、ポイントを絞って、分かりやすく、市民の皆さん方にも周知できるよう出来るだけ早く出す事も必要だと思いますので、それも併せて検討して下さい。はい、事務局。

(事務局) 分かりました。

(教育長) 他いかがですか。それではご意見もなさそうですので、前回の意見等も踏まえて修正したものとなります。この内容で議決ということによろしいでしょうか。

(委員) はい。

(教育長) はい、ありがとうございました。それでは、議決という事で処理をしたいと思います。

## 第18号 令和2年度使用小学校教科用図書及び令和2年度使用中学校教科用図書 (特別の教科道徳を除く)の採択について【非公開】

### 3 その他

#### 1) 義務就学者の就学校の変更について【非公開】

#### 2) 児童生徒の問題行動について(6月分)【非公開】

#### 3) 平成31年度全国学力・学習状況調査結果(速報)について

(事務局説明)

(教育長) はい、説明が終わりました。この件に関しまして委員の皆様方からご質問、ご意見ありましたらお出し願いたいと思います。私の方から追加の説明をいたしますが、本年度、小学校中学校の前年度に比べると、どちらも学力が向上しています。特に小学校が向上していますが、あまり順位とかスコア云々ではないですが、良い事ですので報告だけさせていただきます。中学校の国語、数学、英語のトータル合計点数を見たら、今年初めて、三重県14市でトップになりました。今まで2位という時もありましたが、合計点数が14市の中でトップというのは、非常に頑張った結果かなと。小学校も平均を大きく合計で上回っていますし、三重県も今までにない最高値をとっております、非常にそういう事だけ見れば良いのかなと。もちろん、それが全てではありませんが、この間から学校訪問もしていますが、先生方にも先生も子どもも自信を持つ所は自信を持ってもらいながら、さらなる向上を目指して頑張ってもらいたいという風に申し上げました。先程、指導主事の説明にありましたここ数年、

名張市は経年変化で見た時に同じ子どもが小学校の時、中学校の時と比べたら中学校の方が上がっているという事が続いております。また英語につきましても、かなり高いという結果が出ている所です。委員の方から何かご感想でも結構ですし、ありましたらお出し頂ければと思います。はい、どうぞ。

(委員) 教育委員会の指導主事の先生方始め学校の先生方、本当に努力して10年経って成果が出てきたのかなという風に嬉しく見せて頂きました。新聞を見て今年はやったなと我が事のように嬉しかったですけど、これを継続して行ってもらえたらと思います。ただひとつ気になって、質問紙の住んでいる地域の行事に参加していますかというのが課題となっていますね。その前の難しいことでも失敗を恐れないで挑戦していますかと、この辺を見ていった時に子どものその自分らの意欲というのはどうなっているのかなと。色々な事に対する頑張りとか興味関心持って取り組んでいく。祭りなど地域の行事といたら嬉しい事ですよ。普通は行きたいなと思いますけど、そのようなことが減っていつているというのは子どもの意識に何か変化があるのか気になりました。

(教育長) 分析結果はありますか。

(事務局) まだ、分析が充分ではないですが、この同じ小6と中3でも子どもは毎年違います。経年は見っていますが、同じ子どもで例えばひとつ前の学年、その前の学年という風に同じようなアンケートをして、それがどう変わったかといった見方が出来たら一番良いと思いますが、中々質問紙の内容も変わる中で非常に分析が難しくなってきます。ただ、名張市として、小4と中1の2学年前の学年を対象に秋頃に独自の学習生活アンケートを実施し、同じような質問項目を設けていますので、それとの比較によって分析する事は可能です。

(教育長) よろしいですか。はい、どうぞ。

(委員) 去年と比べてこのポイントの比較を見ると、本当に先生方のご努力で良い成績を出して頂いて非常にありがたい事です。極端に去年、マイナス18.4が今年0点という事ですが、今までの積み重ねというのは分かりますが、何か顕著な変化と言いますか、先生方ご努力されてこういう結果になったというお気付きの点があれば教えて頂きたいと思います。

(教育長) 事務局どうですか。

(事務局) はい、昨年度は非常に大きなマイナスという事で全ての学校で小学校の算数を重点教科としまして、県の方から教職員に割合に関するものと図形に関する冊子が配られました。それをどの学校でも力を入れてやっ行ってこうと決めて頂きまして、重点的に取り組みを進めて頂きました。その結果、算数が少し下がって0.6にまで縮まったという事に繋がっているのかなという風に思います。また三重県では独自にスタディチェックを、学力調査を受けるひとつ前の学年とふたつ前の学年、小4、小5、中1、中2でやっております。同じ子どもがそのスタディチェックはどんな結果になったかというのを学校ごとにグラフにまとめまして、それぞれの学校は三重県平均に対して、或いは全国平均に対してどういう状態なのかという事を常に示しながら、子どもたちの学力を把握して頂いて、そして各学校の方で取り組みを進めて頂いた結果という風に思っております。

(委員) ありがとうございます。どうか現場の先生方に引き続きよろしくお祈いしますと、そしてありがとうございますとお伝えください。よろしくお祈いします。

(教育長) 他いかがですか。はい、どうぞ。

(委員) 普段1日当たりどれくらいの時間を勉強や読書に当てているかという設問で、小学校で読書をする児童が増えているという事では、非常に現場の先生方や教育委員会の指導主事の先生方、また図書館の方など教育委員会全体での取組も成果として出ているのではないかと拝察しております。中々ここを上げるのが大変な中でここが上がっているという事は非常に特筆すべき所でないかなという風に拝察します。大学生におきましては中々読書が非常に難しい取組でもありまして、読書感想文を課題にしてようやく1冊読めるかどうかというような事も聞いております。そのような中で小学校の児童や中学校の生徒が勉強の時間、それから読書の時間を取っているというのは、これは現場の先生方の対応によるのではないかとこの風に私は強く感じておりまして、今回のやはり良い結果に結びついたのも、先生方のご努力だという風に深く敬意を表したい次第です。

(教育長) はい、どうぞ。

(委員) はい、今回の結果を見せて頂きまして、本当に成績が上がっているという事で、先生方が色々頑張って下さった成果だと感じました。小学校から、更に中学校の勉強の方が断然難しくなっていく中で、中学の方で成績が伸びているという所がすごく良い事だなと感じました。去年は成績がもうひとつでしたが、この子達が中学生になった時に成績が伸びていっていると良いなと思います。あと普段の勉強時間が下がっていますが、その中でちゃんと成績が残せているという事は、学校でしっかり学ぶ事が出来ているのかなと感じました。あと地域の行事ですけども、結構地域で色々な行事をして頂いていると思いますし、子ども達も参加していると感じていますが、質問の趣旨を子ども達がちゃんと理解して答えているのかなという風には思いました。もう少し数字があっても良いのかなと感じます。また、コミュニティスクール等で更に地域と密接になれば、ここは上がっていくのかなと感じています。

(教育長) ありがとうございます。はい、どうぞ。

(委員) 先生はあなたのよいところを認めてくれていると回答している割合が、小学校では全国よりも6.3ポイントも高く、半分近くの児童は先生が自分のことを認めてくれているという風に思っているというのが、これは学習環境、安定した気持ちで非常に落ち着いて勉強をしていることは先生方の努力の賜物だという風に思いますし、地域の方やご父兄の方々と学校が信頼感を持って運営されている中で、子ども達もそう思っているという風な、尺度になるのではないかと思います。また、分かるまで教えてくれるというような事でも、これも非常に高いですね。そして中学校も全国比較で更に高いと言うのは、これはまたすごい事だと思います。小学校よりも中学校になっていきましたら、分かるまで教えるというのは非常に大変な事で、中学校の先生方の努力というのはこういうところに表れているのではないかなという風に思いました。

(教育長) 事務局、何か所感等はありますか。

(事務局) ここに載せてあるのは、結果が顕著なものだけですので、これから詳しい分析をしていきたいと思いますが、確かに教育委員がおっしゃったふたつの質問はずっと高い状態が続いていますので、これは名張市としての良い傾向ではないかなという風に考えています。それから先程説明を漏らしましたが、学校別のデータと中学校区別3年間の伸びを示した資料も作成しております。名張市平均は先程申しました結果ですが、もちろんその平均を作っているのは各学校の結果であって、学校間格差というのはあります。そのため、名張市平均が上回っていたから良いではなくて自分のところの学校がどうなのか、そして問題別に見た時にどの問題が大きく差があるのかというデータも全部ありますので、そういった所をしっかりと分析をしながら、各学校で取組を進めて頂きたいと考えております。経年変化でも、3年間で見た時に一番下の国語は2.9、算数数学は4.7伸びましたが、中学校区別に見てみますと大きな差があります。B中学校区だけは国語はマイナス1.5と下がっていると、あとの所につきましてはプラスですが、D中学校区は大きく二桁の伸びを示しております。これは大変評価出来る事ではないかと思っておりますので、またこういった資料も校長会等で示しながら、更に小中一貫教育等が上手く進んでいくように教育委員会としても発信していきたいと考えております。

(教育長) はい、ありがとうございます。私からも補足しますが、この結果が出てから短期間でこれだけの分析をし、まとめている学校教育室のスタッフの力はすごいという事がやっぱり現場にも認識されている。また先程、教育委員が指摘して頂いた質問紙の内容を私は非常に大事にしております。子どもへのアンケートと学校へのアンケートとがありますが、同じ質問をしても、子どもの思いと先生の思いが異なる場合もあります。学校ではやったつもりでも子どもはそんな風に思っていないという事もあったりします。そのような事もきちんと分析をしていきながら進める事が、単なるスコアを上げる事だけではなくて事業改善にも繋がっていくという風にも思います。また先程中学校の間違ったところや理解していないところ分からないところを教えてくれるという事は、中学校の先生方が朝の始業前や放課後等個別指導を、かなりしてくれています。そこへ出てくる子どももまた立派だなと思いますが、そういう事を強制ではなくてやってくれている所もあります。ただ問題は、算数は小学校で特にずっと低い水準です。その理由を、もっとしっかりと分析して課題を克服する為に取り組まなければなりません。ずっと何年間か見ていっても、低い状況が続いています。ところが中学校へ行くと上がっている訳ですから、指導の仕方によってはそんな事にならないはずです。こうやって分からないところまで丁寧に教えてくれているという割合も小学校は高いのに、何故、学力が低いのかなという事を分析し、乖離している部分を探していく必要があると思います。もうひとつは最近名張市にたくさん市外・県外から視察に来られます。名張の取組を評価して頂いている証ですが、この学力、体力、Q-U調査、3点セットの調査の事は特に大きく評価されています。Q-Uの結果も学年が上がるに従って全部上がってきています。この調査を実施して10年が経過しました。10年経過したとい

う事は小学校1年生だった子がもう中学3年生までずっと継続して見られる訳ですよ。段々満足度が上がってきているという事は非常に評価すべき事ではないかなと思っています。やはりこのように満足度が上がってくると学力も高くなっていくという相関関係が非常にあると思います。名張市がやっているこの3つの調査は学力向上にも非常に役に立っているという事があるのかなと思います。もうひとつは教育委員さんにも見てもらっていますが、非常に最近学校の授業は落ち着いた中でやってくれている。そして、やっぱり一生懸命やっているこの事が成果に繋がっているのかなという風にも思います。そういう面で学校生活が落ち着いてくれば、或いはまたその問題行動、その数が減ってくれば、当然学力、或いはQ-U結果も上がってくる。全て今やってくれている事が本当に良い結果を生んでいる、その事は先生方も自信を持って欲しいかなと思っています。先生方がやっている事は、他から見たら素晴らしい事をやっておられ、多くの視察受入にも繋がっている。これら調査の結果から見ても、明らかになっているのもっともっと先生方が自信を持ってやってみよう。また親もその事について理解をしてもらいながらやって頂ければもっと良くなっていくのかな。名張市が教育先進都市を目指している中、或いは教育、子育て教育に素晴らしい町に向けて取り組んでいることを、教育委員の皆さん方もご理解頂ければと思っております。この件についてこの程度でよろしいでしょうか。

(委員) はい。

(教育長) はい、それでは詳細については、また教育委員会で報告したいと思います。

#### 4) 名張市青少年補導センター、名張少年サポートふれあい隊合同パトロールの実施について

(事務局説明)

(教育長) はい、説明が終わりました。この件につきまして委員の皆様方から何かご意見、ご質問がありましたらお願いします。では、大変お世話をお掛けします、また暑い時期ですが、パトロールの方よろしく願いいたします。

(委員) はい。

(教育長) はい、ありがとうございました。

#### 5) 図書館だより

(事務局説明)

(教育長) はい、説明が終わりました。この件につきまして何かご意見、ご質問ありませんか。私からですが、2、3日前、朝日新聞に本の帯コンクールの記事が出ていましたが、良い事が書いてあったので、記事のコピーでも教育委員の方に見て頂いたら良いのかなと思います。



(事務局) 分かりました。

(教育長) 事業の宣伝にもなりますし、学校の先生方にも周知して頂いたら良いかと思いません。

(事務局) はい。

(教育長) ほか、よろしいでしょうか。

(委員) はい。

(事務局) はい、それではこの件につきましては、この程度にさせて頂きたいと思えます。

## 6) その他

### ・各所属からの諸事項

(事務局) 前回の定例教育委員会の際に、名張市指定管理施設の収支状況という事で教育委員からご質問頂きました件について、改めて回答させていただきます。名張市の体育施設の指定管理運営業務に係る収支決算の中で、平成30年度の事業経費が6,606,797円と前年度から300万程増加している要因と、その事業経費が倍増しているにも関わらず、事業収入が少ない要因という事に関しての内容だったと思えます。

(委員) そうです。

(事務局) まず、事業経費の増額要因としましては、指定管理者が自主的に行っています事業、具体的にはテニス教室や体操教室、エクササイズ教室の3つの事業です。特に体操教室ですが、他の2事業は指定管理者の方が講師を雇って、自分達で講習を行う内容としていますが、体操教室に関しましては非常に人気が高くて、講師が不足しております。そのため、外部から講師を招聘した為に諸謝金が非常に伸びてしまったというのが要因です。それと広告宣伝費が100万程前年度よりも増えております。これについては、一定の広告宣伝費を計上していましたが、計画を超えて、地域の情報誌等へ毎週程宣伝を掲載した結果、しかも時期としましては平成30年の後半に広告等載せて頂いたもので、その分が多く実質収支が悪化したというのが現状です。結局その広告宣伝費等、多くを費やした割には、時期的には後半でしたので、その効果が出てくるのが今年度ぐらいになってくるという事で、前年度中の効果が得られなかった為に収入部分が少なくなったというのが要因でした。

(委員) はい、ありがとうございます。では、当初の計画が300万だと。今年の31年度の計画額には、説明頂いた様々な要因に関して反映した予算を組んでいる訳ですね。

(事務局) 今年度につきましてはそうです。

(委員) はい、それにしては金額が外部講師料という要因だけでは高い、負担が大きいと思えますので、ご配慮頂ければと思えます。

(事務局) はい、そうさせていただきます。

(委員) はい、ありがとうございます。

(教育長) はい、他の件で何かありませんか。諸会議、行事予定表にもありますが、8月9日の教育講演会、或いは10日のホッケー場のオープニングセレモニー等ありまして、ご都合がつけば是非とも参加を頂きたいなと思っておりますので、よろしく願いをいたします。また、夏休み中の研修講座など、見て頂く事も可能ですのでよろしく願いいたします。他はよろしいですか。はい、以上で第5回の定例教育委員会を終了いたします。どうもありがとうございました。